

※今月のみ受注の書目です。

国際情勢 (アメリカ)

アメリカの中東戦略とはなにか 平積み
石油・戦争・同盟 (2025 年 8 月下旬刊行予定)

溝渕正季 (明治学院大学法学部准教授) [著]

四六判並製 / 280 頁 税込予価 2,970 円 ISBN978-4-7664-3045-5 C3031

 ココに注目!

- ・アメリカの中東戦略は何を目的としてきたのか。
- ・「石油」「イスラエル」「対テロ戦争」などの6つの視点から読み解く。
- ・トランプ政権と今後の中東情勢のゆくえを探る必読の一冊。

第二次世界大戦以降、一貫して中東を戦略的な重要地域として捉えてきたアメリカ。その政策を、鍵となる6つの視点「石油」「イスラエル」「イラク戦争」「対テロ戦争」「反覇権の動き」「大国間競合」を軸に、わかりやすく読み解いていく。今後トランプ政権、そして中露の介入などの展開も含め、日本の読者へ示唆を与える注目の一冊。

対象 一般 (中東情勢 / アメリカ外交に関心のある層)

類書 ハミッド・ダバシ『イスラエル＝アメリカの新植民地主義』(地平社)
岡真理『ガザとは何か』(大和書房)

【営業部からのおすすめポイント】

イスラエルとハマスの紛争が激化してから1年半あまりが経過、イスラエルとイランとの間の攻撃の応酬など、これらの紛争の行方に大きな影響を与えるのがアメリカの中東戦略です。さらには第二次トランプ政権によるイラン攻撃などの極端な戦略やその影響など、今後の動静を見極めるためにも必読の一冊です、ぜひ積極的な展開をお願いします! (乙子)

 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章

はじめに／そもそも、アメリカはなぜ中東に関与してきたのか？

第1章 アメリカの対中東政策——歴史と論理

はじめに／「非リベラルな覇権秩序」の構築／綻びはじめた覇権／「覇権後」の地域秩序／おわりに

第2章 石油にかかわる戦略

はじめに／アメリカと石油——物語の始まり／冷戦と石油／
おわりに——冷戦終結と「カーター・ドクトリン」のゆくえ

第3章 イスラエルへの戦略

はじめに／アメリカによる揺るぎないイスラエル支持の背景／
アメリカ・イスラエル関係の歴史的展開／おわりに

第4章 なぜアメリカはイラクに侵攻したのか？

はじめに／さまざまな仮説／開戦理由の検証／おわりに

第5章 グローバル・ジハードとアメリカの「対テロ戦争」

はじめに／グローバル・ジハードの「四つの波」／アメリカの「対テロ戦争」／おわりに

第6章 イランの反覇権戦略と「抵抗の枢軸」

はじめに／「革命の輸出」を通じた「抵抗の枢軸」の形成／抵抗の枢軸／
おわりに——2025年の地政学的威嚇変動

第7章 中東をめぐる大国間競合——中国とロシア

はじめに／中国の対中東関与政策／ロシアの対中東政策／おわりに

終章 第二次トランプ政権と中東地域のゆくえ



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			溝渕正季 著 アメリカの中東戦略とはなにか —石油・戦争・同盟 ISBN978-4-7664-3045-5 C3031	2,970 円	★★★ ★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			向山直佑 著 石油が国家を作るとき—天然資源と脱植民地化 ISBN978-4-7664-3004-2 C3031	4,620 円
			マーク・M・ローエンタール 著／小林良樹 訳 インテリジェンス [原著9版] 上 —機密から政策へ ISBN978-4-7664-3016-5 C3031	4,950 円
			森聡・福田円 編著 入門講義 戦後国際政治史 ISBN978-4-7664-2793-6 C3031	2,860 円